

2016年6月19日

当院で肺塞栓症および深部静脈血栓症 の治療を受けられた患者さんへ

当院で行っている臨床研究についてのお知らせとお願いです

課題名：COMMAND VTE Registry

静脈血栓塞栓症患者の診療実態とその予後を検討する多施設ヒストリカルコホート研究

◆研究の目的と概要◆

当院では、静脈血栓塞栓症（肺塞栓症という肺の血管に血の塊が詰まる病気、および深部静脈血栓症という体の中の深い所に存在する静脈に血の塊ができる病気）と診断された患者さんの症状と治療の方法、その後の経過を評価し、日本人の静脈血栓塞栓症の一番良い治療方針を調べることを目的として、静脈血栓塞栓症の患者さんを対象に、臨床研究を実施しています。

この研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

なお、この研究は多施設共同研究で、京都大学病院 山下侑吾医師、木村剛教授が主体となって実施しており、全国 29 施設が参加しています。

◆対象となる患者さん◆

2010年1月から、2014年8月までの間に、肺塞栓症もしくは深部静脈血栓症であると診断された方。

◆研究に使用されるカルテ情報◆

年齢、性別、身長・体重、これまでの治療経過、各種検査の結果

- * 患者さん個人が特定されるような情報は一切公表されません
- * この研究は、倉敷中央病院 医の倫理委員会の承認を得て行っています。
- * この研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用を希望されない方は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

循環器内科 研究責任者 天野秀生 / 門田一繁

TEL：086-422-0210（代表）、FAX：086-421-3424（代表）

E-mail：kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究推進部）

（★を@に変換して使用してください）